

学校だより

９月号

令和８年９月１日

八潮市立柳之宮小学校

学校教育目標
やさしい子
元気な子
考える子

「地域を愛する心」を学校づくりへ

八潮市立柳之宮小学校長　砂賀　正史

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきます。子どもたちが、とびっきりの笑顔で登校する姿を見せてくれることを、今から楽しみにしています。

さて、私はこの夏休みに岐阜県を旅してきました。岐阜といえば、豊かな自然と清らかな川。美しい川をゆっくり眺めたり、水に親しんだり、青々とそびえ立つ山々を眺めたりする中で、たくさんのエネルギーをもらいました。また、中津川市の旧中山道馬籠宿、郡上市八幡の町並みなどを訪れ、歴史や文化にも触れることができました。その中でも、特に印象に残ったのが飛騨高山でした。高山市は、岐阜県の北部に位置し、東京都に匹敵するほどの広大な市域をもち、その約9割が森林で占められています。豊かな自然に囲まれる一方で、城下町の面影を残す古い町並や高山祭など、長い歴史と伝統文化が大切に受け継がれている町でもあります。こうした魅力に惹かれ、国内だけでなく、海外からも多くの観光客が訪れています。

私は高山市で、朝6時頃にランニングに出かけました。すると、町の多くの方が川沿いの歩道のごみを拾ったり、歴史的な町並みの側溝を開けて丁寧に掃除したりしている姿が目に入りました。すれ違う人同士が自然に挨拶を交わす姿からも、この町を大切にし、地域を愛する人々の思いが伝わってきました。高山市が国内外から多くの人を引きつけ、世界から注目される町となっている背景には、豊かな自然や歴史的な町並み、伝統文化といった観光地としての魅力だけではなく、そこに暮らす人々の「自分たちの町を大切にしたい」「訪れる人を気持ちよく迎えたい」という思いがあるのではないかと感じました。地域を愛する人々の心が、日々の行動となって表れ、それが町の魅力となり、今につながっているのだと思います。

いよいよ二学期がスタートします。私たちの学校も、高山市の人々の姿に倣い、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員から「大切にしたい」「愛したい」と思ってもらえる柳之宮小学校をつくっていきたいと、改めて心に誓いました。私たち教職員が学校を大切にする思いや願いは、必ず子どもたちの姿や学校の雰囲気に表れ、それが保護者や地域の皆様からの信頼にもつながっていくものと確信しております。「笑顔で登校し、満足して下校する」柳之宮小学校を、子どもたちと教職員が一緒につくっていくために、一人一人の子どもに真心を込めて向き合い、二学期の学校経営を進めてまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、今学期も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。